



講演会

「欧州モデルの現状 — アジアの手本になりうるか」

ドイツ社会民主党 (SPD) ミヒャエル・ロート議員

日 時： 2007 10 月 16 日 (火)

会 場： ホテル グランドパレス (東京都千代田区飯田橋 1-1-1)

講演会： 15:00 ~ 17:00 橋の間 (4 階)

懇親会： 17:00 ~ 18:30 桐の間 (4 階)

共 催： フリードリヒ・エーベルト財団東京事務所

聖学院大学大学院総合研究所

拡大 EU の中では加盟国の結束をより強固にするためには新しい憲法が必要であるという議論が行われています。今回、私共はドイツ社会民主党 (SPD) のミヒャエル・ロート議員をお迎えして EU における憲法論議について最新の状況をご報告していただくために上記の要領で講演会を開催いたします。

皆様には是非ご参加いただきたくご案内申し上げます。

欧州は岐路に立っている。平和・自由・民主主義・裕福の 50 年を経て欧州連合には新しい法的基盤が必要になってきた。2004 年のフランスとオランダによる憲法条約の拒否はこの共同プロジェクトに疑問を投げかけた。現在、加盟国は新しい条約の交渉に入っており、ここでは一層の民主主義と行動力が模索されている。

今日、我々は 20 世紀流のやり方では克服できない新しい挑戦を受けている。社会的市場経済と民主的社会はグローバル化した世界でも存続しなければならない。だが、国民国家は一国だけでは限られた行動力しか持たない。気候危機、移民、テロとの闘いを見れば、我々は今日、重要な政治問題を孤立して、また国民国家のように解決できないことは明らかだ。政治統合という欧州モデルがこのような問題のカギとなるだろう。

加盟国が 15 カ国から 27 カ国に拡大した EU は今、すべての加盟国に裕福・安全・連帯を保障できることを証明しなければならない。そうして初めて世界の他の地域の手本となり得るのだ。